

特定非営利活動法人

日本ソーシャルワーカー協会
* 社会福祉公開セミナー *

1. 趣 旨

周知の如く、昨年 7 月にオーストラリアのメルボルンで開催された国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) と国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW) の総会で「ソーシャルワークのグローバル定義」が採択され、日本国内では日本社会福祉教育学校連盟と JASW を含むソーシャルワーク関係 4 団体で構成されている社会福祉専門職団体協議会により日本語訳された確定版が 2015 年 2 月に決定された。一方、国内ではいわゆる余裕財産がある社会福祉法人について厚労省は 2017 年から地域に貢献する姿を明確にする改正案を提出し議論をよんでいる。また 10 年後の超高齢社会の到来を控え認知症高齢者への取り組みは現下の喫緊の課題である。これらの諸問題を 3 部構成にて、現状と課題を踏まえつつ新たな視座から提言願ひ、参加者とともに理解を深めたいと願っている。

2. 日 時： 2015年9月12日(土) 13:00~16:40

3. 場 所： ホテル機山館(東京都文京区本郷3丁目交差点すぐ)

4. 内 容

総合司会：大塚保信 (JASW 副会長)

開会挨拶：岡本民夫 (JASW 会 長)

I、第1部： 13:10~14:10
新グローバル定義に見るソーシャルワーク像といくつかの課題
沖縄国際大学教授 保良昌徳氏

II、第2部： 14:10~15:10
社会福祉法人改革とソーシャルワークについて(問題提起)
社会福祉法人サンシャイン会理事長 川西基雄氏

(休憩 15:10-15:20)

Ⅲ、第3部

15:20～16:40

～認知症に対するソーシャルワーカーの臨床的対処の現場から～

・「東京都における認知症疾患医療センターの取組みについて」

～ ソーシャルワーカーの役割を中心にして～

東京都健康長寿医療センター

認知症疾患医療センター認知症専門相談室次席医療SWr 島山 啓 氏

「演題主旨」平成24年4月に東京都内12保健医療圏ごとに認知症疾患医療センターが指定され、本年4月には4年目を迎えた。都における認知症高齢者は、38万人を超えており、平成37年には、60万人に達する見込みであり、認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）を受けて、今年度中に都内53か所（島嶼くとうしょ）地域を除く全区市町村に1か所ずつ設置）に認知症疾患医療センターを整備する計画になっている。都独自の取組みとそこで活動するソーシャルワーカーの役割について紹介する。

・「若年性認知症について」ー本人・家族から教えてもらったものー

NPO 法人 若年性認知症サポートセンター 理事

木舟 雅子 氏

若年認知症について、その特徴を伝え病院での相談、患者会活動を通じて、本人・家族から教えてもらったことと、その内からみえてきたソーシャルワーカーの重要性について報告する

5. 参加費（資料代を含む）**会員**（日本ソーシャルワーカー協会） **無 料**

非会員（一般 1000円 ・ 学生 500円）

6. 参加申込

9月4日（金）までに、別紙申込書をFAXでお送り下さい。メールでも可です。

参加費は当日受付でお願いします。会場に制約がありますので定員になりましたらお断りすることがあります。その節はご容赦ください。

主 催 特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 森山ビル西館4階401号室

(Tel 03-5913-8871、Fax 03-5913-8872 E-mail jasw@jasw.jp)

特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

『社会福祉公開セミナー』（2015年9月12日（土）） 参加申込票

氏名		Tel : Fax : E-mail :
住所	〒	
所属		(○で囲む) 会員 非会員 (学生、一般)

上記申込票に所定の事項をご記入の上、FAX 送信をお願い申し上げます。

締切日： 2015年9月4日（金）

FAX : 03-5913-8872

E-mail : jasw@jasw.jp

(会場地図 裏面参照)